

尾西繊維協会ビル探訪

今も現役で使われている、昭和初期の建物。
その内部はどんな感じなのか、何をしているのかを探検します。

JR 東海道線の線路沿いの東側、一宮駅の南のあたりに、屋上に「尾張の服地」の三面広告ネオン塔を乗せた茶色いタイル張りのレトロな建物があります。

これは、尾西繊維協会ビルと言って、昭和 8 年に建てられた旧尾西織物同業組合事務所の建物だそうです。

現在、このビルには、・尾西毛織工業協同組合・一宮織物修正協同組合・愛知県撚糸工業組合などの繊維関係の団体の事務所が入っています。



一宮は、昭和 25 年代をピークに、毛織物産業がとても盛んでした。「ガチャマン」と言われたほど景気がよく、名古屋市より早く、県内で最初の鉄筋コンクリート造りの市庁舎が建てられたほどです。他にも大正 13 年建築の一宮市役所西分庁舎（旧名古屋銀行一宮支店）は、東海地方の著名な建築家、鈴木禎次氏の設計です。

この建物も、昭和初期の繊維産業華やかかりし頃の建物なので、細かいところにもいろいろこだわって作られています。このすばらしい尾西繊維協会ビルの講堂を会場に、今もなお現役で使われているこの建物についてや、一宮の繊維産業の盛衰のようす、この地域でなぜ繊維産業が栄えたのか、背景にある木曾川の物流や三八市との関係からひも解くなど、尾州の繊維業をとりまく様々なお話を、MS企画 代表で、尾州・テキスタイル・カレッジ副理事長の山下征彦様から伺い、その後、建物の内部を見学させていただきたいと思います。

講師プロフィール：MS企画 代表 山下 征彦

昭和 41 年 4 月 高校教諭を経て織研新聞社入社 編集記者としてテキスタイルを担当。
オーストラリア、イギリス、イタリア、アメリカ、中国特派員を経験。
36 年に渡り繊維産業の推移を取材、多くの特集などを報道。 取締役名古屋支社長。
平成 14 年 定年退職。 尾州・テキスタイル・カレッジ共同成立。
(財)一宮地場産業ファッションデザインセンター
メールマガジン「テキスタイル&ファッション」編集長

◆いちのみや大学第講座「尾西繊維協会ビル探訪」

- ・日時： 9 月 23 日(木・祝)午後 2:00～午後 3:30 (1:30 受付開始)
- ・会費： 1000 円 ・定員： 30 名 (要予約)
- ・場所： 尾西繊維協会ビル、講堂 一宮市栄 4-5-11 (tel 0586-72-4345)
駐車場 10 台ぐらい 向かい側に公共駐車場あり
一宮駅から徒歩 5 分
・申し込み：ホームページから <http://ichinomiya-daigaku.com/r/>
インターネットをご利用でない方は、メールまたは、
電話・FAX(0586-72-5445)(平日 9～17 時)にてお申し込みください。
- ・申し込み締切： 9 月 22 日(水)午後 5 時まで。 キャンセルの場合も同様。
※お問い合わせは、
有限会社人の森気付け いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445
メール: info@ichinomiya-daigaku.com までお願いします。



いちのみや大学ってどんなもの？

◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくらうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。

一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。

人口も38万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。

そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。

いちのみや大学はどなたでも参加できますので、どうぞお気軽にご参加ください。

◆参加方法

① いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiyaigaigaku.com/> からの申し込み

学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。

② インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合

電話/fax 0586-72-5445(平日 10時から17時)

メール info@ichinomiyaigaigaku.com でも受付しています。

※受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報をご確認ください。

◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)
西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色(会場:スポ文)
後藤泰洋&大島誠二 現代アートを語る(会場:織部亭)
ジャズピアニスト、ナタリー成田のアフタヌーン・ミュージックカフェ(会場:織部亭)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場(会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)
- ・歴史学部 江戸時代の一宮の村社会(会場:スポ文)
のこぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策(会場:葛利毛織)
妙興寺を体感する(会場:妙興寺)
美濃路・起宿と湊屋(会場:湊屋)

◆これからの講座

理学部 プラネタリウムのしくみを知ろう！(一宮地域文化ひろばプラネタリウム館)

◆いちのみや大学のちらしを置かせてもらっている所

織部亭、野の花、さかな、フリークル、市役所(含木曾川、尾西)、ちゃらん家、市民活動支援センター等



「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局(有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4 ~~アートメゾン~~ 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiyaigaigaku.com